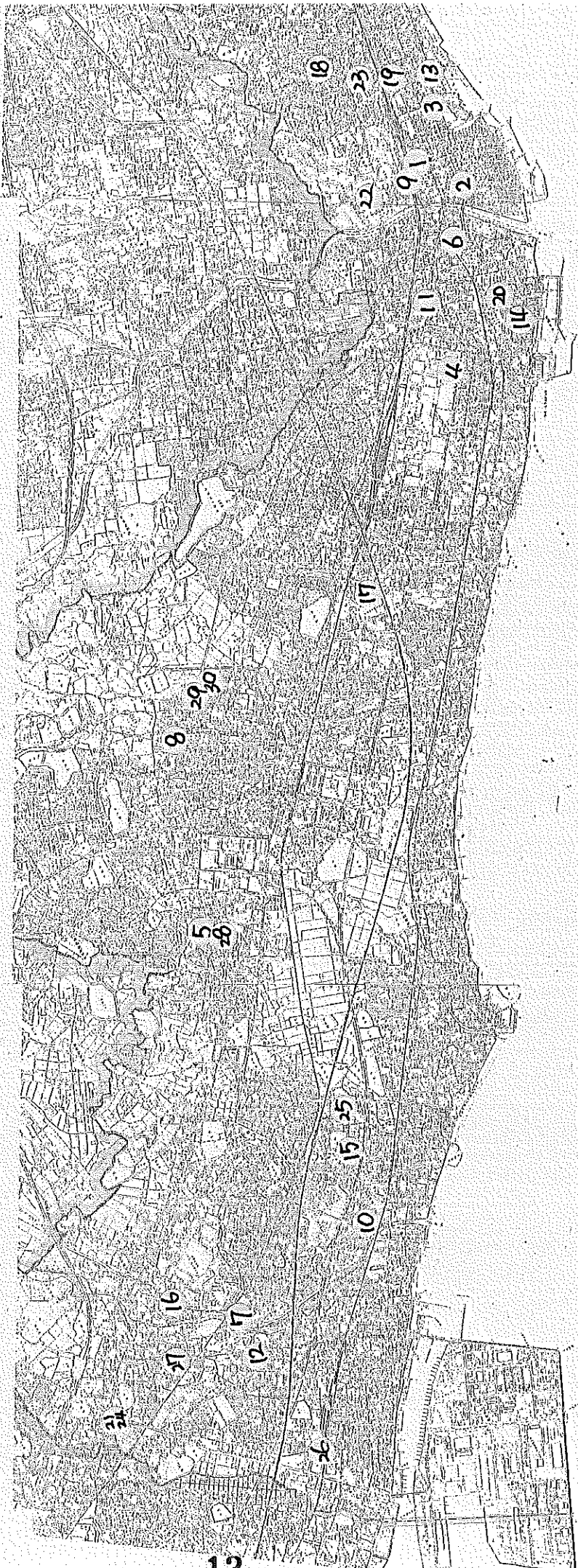


令和2年度埋蔵文化財調査一覧

発掘調査

| No. | 遺跡名 | 所在地 | 事業名 | 開発面積 (㎡) | 調査面積 (㎡) | 調査期間 | 国庫 |
|-----|--------------------------------------|---|-------------|----------|----------|----------------------------|----|
| 1 | 明石城武家屋敷跡 大明石第42地点(OA42-2) | 大明石町2丁目1番10 | 集合住宅 | 351 | 207 | 令和2年4月2日 ～5月20日 | |
| 2 | 明石城下町屋跡 梅屋町第17地点(TM17-2) | 梅屋町14-11、14-12、14-13 | 集合住宅 | 402 | 265 | 令和2年4月6日 ～5月29日 | |
| 3 | 明石城下町屋跡 本町第19地点(HO19-2) | 本町1丁目14番8 | 集合住宅 | 196 | 148 | 令和2年5月21日 ～7月20日 | |
| 4 | 宮ノ上遺跡(MU1-2) | 川崎町100番1他 | 工場 | 1137 | 208 | 令和2年5月25日 ～6月26日 | |
| 5 | 宮ノ前遺跡(MM2-2) | 大久保町西脇字宮ノ西634-1 | 住宅 | 115 | 18 | 令和2年6月2日 ～6月6日 | |
| 6 | 船上城跡(FN15-2) | 田町1丁目3番1 | 工場 | 920 | 550 | 令和2年6月12日 ～7月31日 | |
| 7 | 魚住町西岡試掘調査 | 魚住町西岡字鴨台2119番23 | 清掃工場 | | 4 | 令和2年6月19日 | ○ |
| 8 | 寒田湖遺跡(KB1-2) | 大久保町大窪字寒田瀬890番1他 | 宅地造成 | 1832.27 | 47 | 令和2年7月15日 ～7月28日 | |
| 9 | 明石城武家屋敷跡 大明石町 第41-3地点 (OA41-3) | 大明石町2丁目1323番4 | 住宅 | 281.54 | 6 | 令和2年7月14日 ～7月15日 | ○ |
| 10 | 魚住住吉遺跡 第5地点 (USY5-2) | 魚住町住吉三丁目1248番1、1262番1 | 宅地造成 | 1465.00 | 680 | 令和2年6月17日 ～7月18日 | |
| 11 | 硯町遺跡 (SUZ7-2) | 硯町1丁目33番2 | 店舗新築 | 6977 | 210 | 令和2年7月29日 ～9月17日 | |
| 12 | 佛道遺跡 (HT1-2) | 二見町東二見字佛道571番1の一部他 | 宅地造成 | 5729.28 | 408 | 令和2年8月3日 ～9月17日 | |
| 13 | 明石城下町屋跡 相生町第7地点(AI7-2) | 相生町2丁目12-5 | 個人住宅兼 店舗 | 334 | 72 | 令和2年9月11日 ～9月18日 | ○ |
| 14 | 船上城跡(FN16-2) | 林2丁目1227番3、1227番2 | 個人住宅 | 134 | 58 | 令和2年9月15日 ～9月30日 | ○ |
| 15 | 魚住住吉遺跡 第6地点 (USY6-2) | 魚住町住吉1丁目 7-8、7-23、7-24、7-25 | 店舗新築 | 886 | 16 | 2020年9月23日 ～9月30日 | |
| 16 | 塚之脇遺跡 第3次 (TW3-2) | 魚住町清水字塚之脇1567番6外 | 宅地造成 | 1624.06 | 138 | 2020年9月28日 ～10月16日 | |
| 17 | 藤江遺跡(FJ11-2) | 藤江字中谷994番2、995番、996番1、1006番2の一部、1012番、1017番、1020番2、-3、-4、1021番1、-3の一部、水路、里道 | 宅地造成 | 4555.45 | 86 | 2020年10月6日 ～11月13日 | |
| 18 | 太寺廃寺 第27-3地点 (TD27-3) | 太寺一丁目122番5、6 | 個人住宅 | 2597.48 | 50 | 2020年10月6日 ～10月13日 | ○ |
| 19 | 明石城武家屋敷跡 東仲ノ町 第19地点(HN19-2) | 明石市東仲ノ町1105-1、3、25、26 | 集合住宅 | 310.95 | 195 | 2020年10月13日 ～11月19日 | |
| 20 | 船上城跡 第17次 (FN17-2) | 新明町490-8 | 個人住宅 | 101 | 55 | 2020年10月26日 ～11月9日 | ○ |
| 21 | 魚住町清水試掘調査 (SZ4-2) | 魚住町清水字井桶田2172番2 | 試掘調査 | 1218 | 8 | 2020年10月29日 | ○ |
| 22 | 明石城武家屋敷跡 鷹匠町 第13地点(TJ13-2) | 鷹匠町1513番126 | 個人住宅 | 80 | 56 | 2020年12月10日 ～12月16日 | ○ |
| 23 | 明石城武家屋敷跡 山下町 第27地点(YM27-2) | 山下町3-4 | 園舎改修 | 33773 | 165 | 2020年12月14日 ～2021年1月26日 | |
| 24 | 古代山陽道 清水第4地点(SZ4-3) | 魚住町清水字井桶田2172番2 | 集合住宅 | 1218 | 76 | 2020年12月17日 ～12月28日 | |
| 25 | 魚住古窯跡群 中尾川支群 第13地点(UN13-2) | 魚住町中尾字向原528番、529番1他 | 宅地造成 | 2086.82 | 115 | 2021年1月6日 ～1月29日 | |
| 26 | 大池ノ下遺跡(OH1-2) | 二見町西二見字大池ノ下1443番3他 | 集合住宅 | 3544.53 | 710 | 2021年2月2日 ～ | |
| 27 | 藤原遺跡(FJW1-2) | 二見町福里字藤原128、129、130-8、130-13 | 宅地造成 | 2935.29 | 360 | 2021年2月18日 ～ | |
| 28 | 宮ノ前遺跡 第3地点 (MM3-2) | 大久保町西脇字宮ノ前573番15 | 個人住宅 | 122.34 | 30 | 2021年2月22日 ～2月27日 | ○ |
| 29 | 北出口遺跡 第1地点 (KD1-2) | 大久保町松陰字北出口234番1、235番2 | 店舗新築 | 2191.69 | 67 | 2021年2月24日 ～3月8日 | |
| 30 | 北出口遺跡 第2地点 (KD2-2) | 大久保町松陰字北出口230番、231番、里道、水路 | 宅地造成 | 2886.02 | 187 | 2021年3月10日 ～ | |



12

1:250,000

1:250,000

埋蔵文化財発掘調査件数一覧

| 年度 | 試掘調査件数(件) | 確認調査件数(件) | 発掘調査件数(件) | 調査面積(m ²) | 管理費(円) |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------------------|-----------|
| 平成5年度 | | | 4 | 1,923 | |
| 平成6年度 | | 1 | 8 | 1,500 | |
| 平成7年度 | | 20 | 18 | 5,555 | |
| 平成8年度 | | 29 | 19 | 7,957 | |
| 平成9年度 | | 17 | 12 | 8,234 | |
| 平成10年度 | | 10 | 13 | 6,050 | |
| 平成11年度 | | 9 | 11 | 7,113 | |
| 平成12年度 | | 19 | 5 | 1,300 | |
| 平成13年度 | 9 | 39 | 10 | 2,275 | |
| 平成14年度 | 23 | 42 | 10 | 4,695 | |
| 平成15年度 | 38 | 32 | 9 | 2,846 | |
| 平成16年度 | 54 | 41 | 10 | 3,522 | |
| 平成17年度 | 66 | 27 | 8 | 2,760 | 2,880,274 |
| 平成18年度 | 69 | 62 | 9 | 2,924 | 4,244,844 |
| 平成19年度 | 50 | 47 | 8 | 5,218 | 5,190,220 |
| 平成20年度 | 55 | 75 | 7 | 2,261 | 1,418,117 |
| 平成21年度 | 29 | 51 | 8 | 1,732 | 384,650 |
| 平成22年度 | 40 | 60 | 12 | 1,142 | 1,158,878 |
| 平成23年度 | 52 | 91 | 14 | 3,025 | 2,860,459 |
| 平成24年度 | 53 | 75 | 18 | 3,708 | 3,260,650 |
| 平成25年度 | 42 | 71 | 13 | 2,874 | 742,696 |
| 平成26年度 | 35 | 68 | 12 | 3,223 | 1,946,364 |
| 平成27年度 | 73 | 95 | 17 | 3,424 | 3,515,551 |
| 平成28年度 | 37 | 100 | 14 | 1,484 | 2,326,935 |
| 平成29年度 | 44 | 111 | 18 | 2,946 | 4,063,879 |
| 平成30年度 | 57 | 101 | 17 | 5,655 | 4,089,772 |
| 令和元年度 | 60 | 105 | 26 | 3,456 | 4,796,441 |
| 令和2年度 | 55 | 76 | 30 | 5,195 | 6,108,429 |

10. 魚住住吉遺跡 第5地点

所在地 魚住町住吉三丁目 1248 番 1、1262 番 1
開発事業名 宅地造成
事業者名 三幸殖産株式会社
調査の種別 発掘調査
調査期間 令和 2 年 6 月 17 日 ～ 7 月 18 日
調査面積 約 680 m²

概要

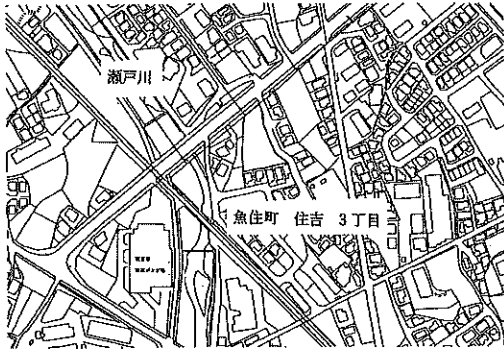
調査地は周知の埋蔵文化財包蔵地である魚住住吉遺跡の包蔵地に位置している。令和 2 年 5 月 27 日の確認調査で、中世の土師器片や柱穴跡が検出されたため、本調査を実施することになった。

今回の調査では調査区を 2 分割し、主にⅡ区トレンチ南端から蛸壺焼成土坑と、完形に近い土器群を数多く検出した。

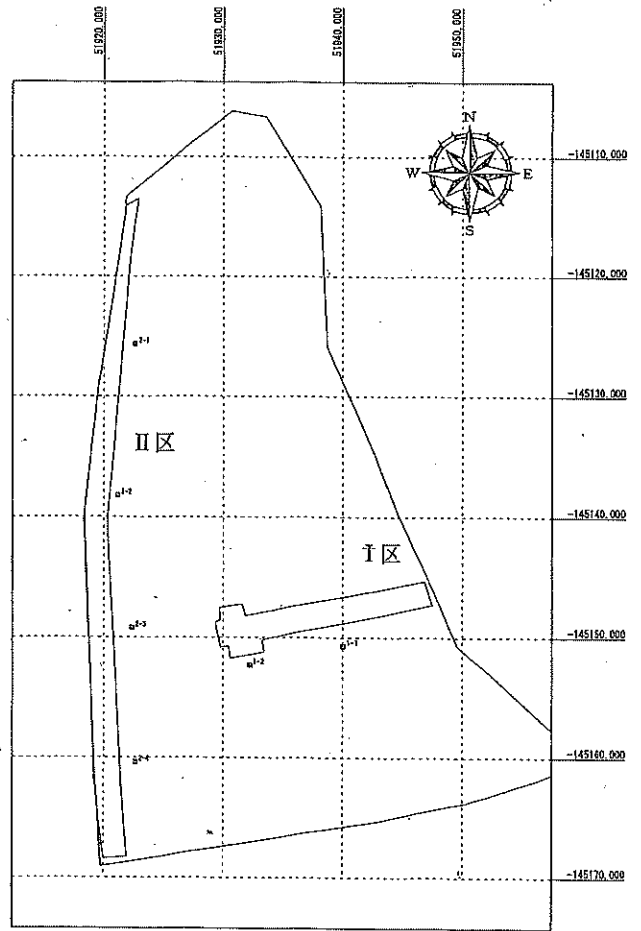
Ⅱ区南端では蛸壺焼成土坑と考えられる SK06 が検出された。確認された窯体の規模は長軸約 1m、短軸約 90 cm、木炭面頂点から窯底までの深さは約 10 cm を測る。窯壁は土坑の南東に一部残存しており、外側に黒い被熱土、内側に赤い被熱土が残っていた。窯内からは、原形を保ったままの木炭に混じって飯蛸壺の破片が多量に出土し、蛸壺焼成途中の状態がそのまま残されていた。

さらに、Ⅱ区トレンチの南端部分では、基盤層が南西から北東にかけて直線的に約 15cm の段差をもって掘り込まれ、平坦面をつくりだしている。この土坑の埋土からは、土師器壺や甗、完形品の飯蛸壺と須恵器蓋杯が複数出土しており、住居に伴う遺構と考えられる。出土した蓋杯の型式から、6 世紀後半頃の時期と推定される。また、蛸壺焼成土坑はこの土坑が廃絶した後につくられている。

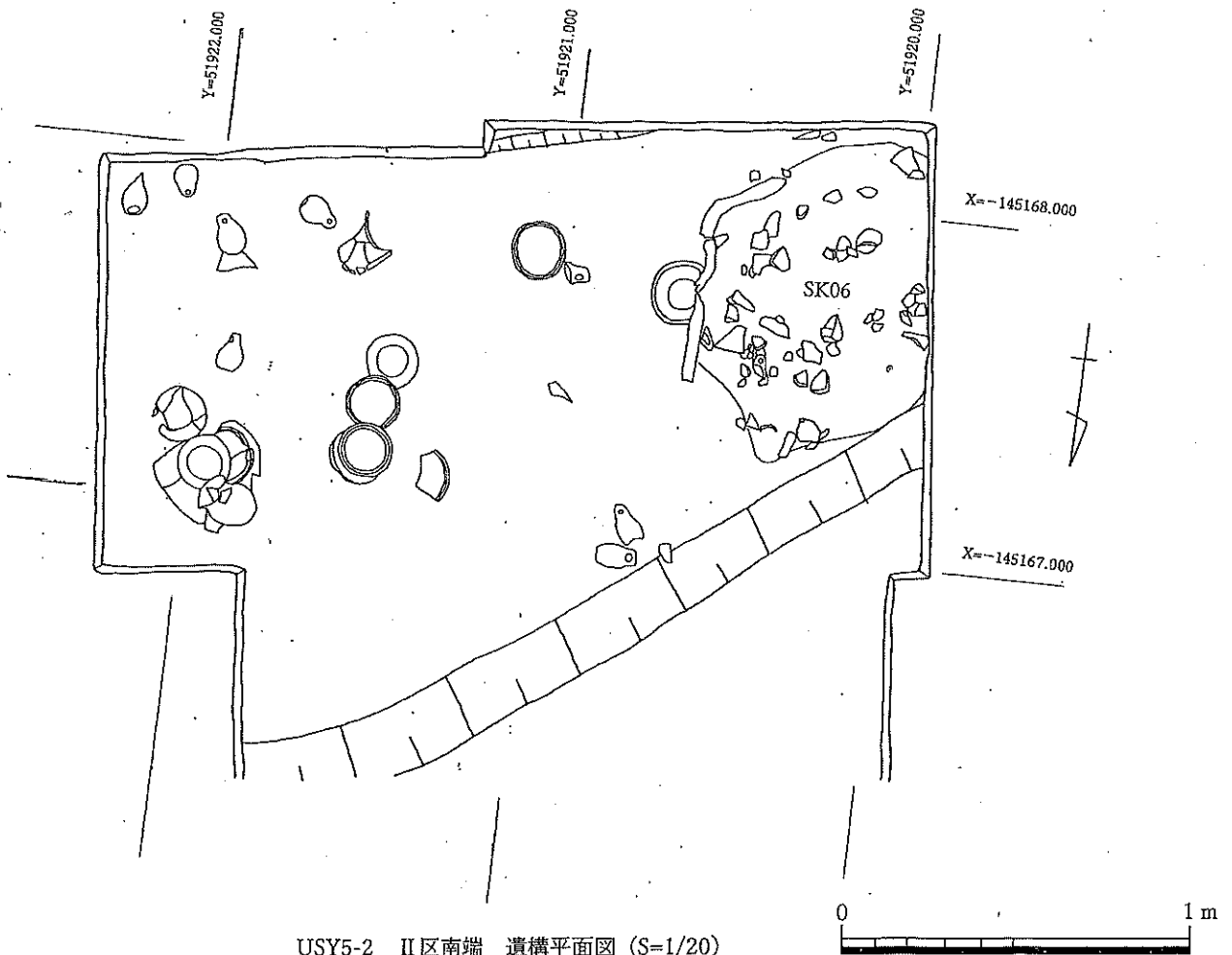
調査の結果、事業予定地には古墳時代の蛸壺焼成土坑が残存していることが分かり、遺構が残りにくい蛸壺の野焼き窯に関する貴重な資料を得ることができた。当調査区の 100 m 程南で行われた過去の試掘調査でも、古墳時代の蛸壺焼成土坑や柱穴跡が検出されており、飯蛸壺や土錘などの漁撈具を生産していた時期の瀬戸川に臨んだ河岸段丘上の集落の様子が伺える資料となった。



USY5-2 位置図 (1/8000)



USY5-2 調査区割図 (S=1/1200)



USY5-2 II区南端 遺構平面図 (S=1/20)



USY5-2 II区南端 飯蛸壺焼成土坑(右上) および須恵器、飯蛸壺



USY5-2 II区南端 焼土層(右上)



USY5-2 II区南端 掘り込み部出土 飯蛸壺 (6世紀後半頃)

1 2. 佛道遺跡

| | |
|-------|---------------------------|
| 所在地 | 二見町東二見字佛道 571 番 1 の一部 外 |
| 開発事業名 | 宅地造成 |
| 事業者名 | 株式会社 勝美住宅 |
| 調査の種別 | 発掘調査 |
| 調査期間 | 令和 2 年 8 月 3 日 ~ 9 月 17 日 |
| 調査面積 | 約 408 m ² |

概要

調査地は周知の埋蔵文化財包蔵地である佛道散布地に近接している。令和 2 年 6 月 22 日の確認調査で中世の土師器・須恵器片が出土し、土坑の一部が検出されたことから、本調査を実施することになった。

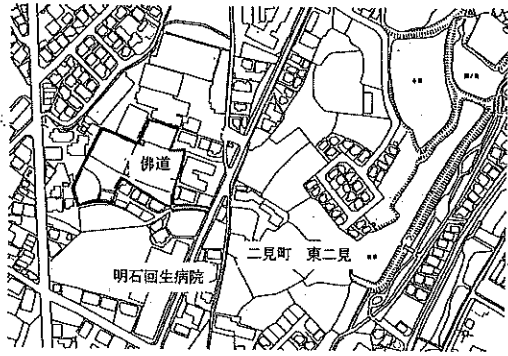
今回の調査では調査区を 5 つのトレンチに分割し、主にⅢ区の北東部において中世の遺構を複数検出した。

SK02 は長軸約 1m、短軸約 70 cm の楕円形の土坑で、埋土からは 5~10 cm 大の礫、須恵器鉢・皿、土師器皿・羽釜、アカニシ貝殻が出土した。出土遺物から 13 世紀頃に位置づけられ、祭祀に関係する遺構と考えられる。

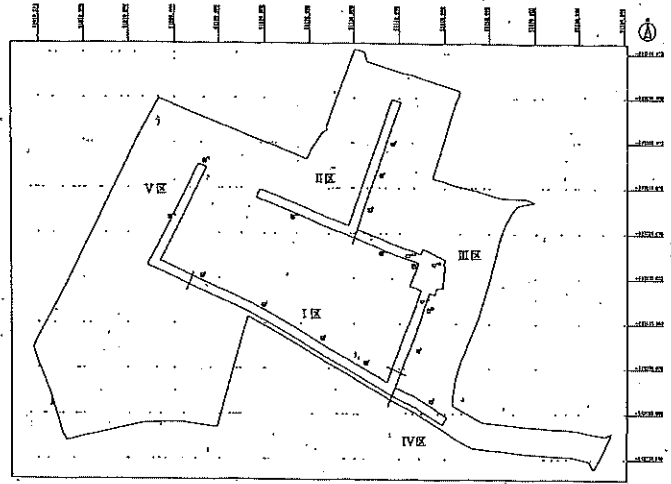
SK06 からは凝灰岩製の石が出土した。石の上面は平坦で、中央に径約 28 cm の円形の彫り込みがあり、さらにその中心に径約 10 cm の円孔がある。付近から同様の石は検出されず、回転台の土台や臼として使用されたと考えられる。また、周辺に柱穴が数多く検出されたことから、何らかの作業施設が存在した可能性がある。

SK09 は一辺約 2.5m の土坑で、5~20 cm 大の礫が密集した状態で検出された。礫群の隙間からは、主に 13 世紀頃の須恵器片口鉢・甕、土師器甕・羽釜、蛸壺、アカニシ貝殻が出土した。当遺構も、大量の礫がまとまって検出されていることから、経塚等の性格をもつ遺構であったと考えられる。

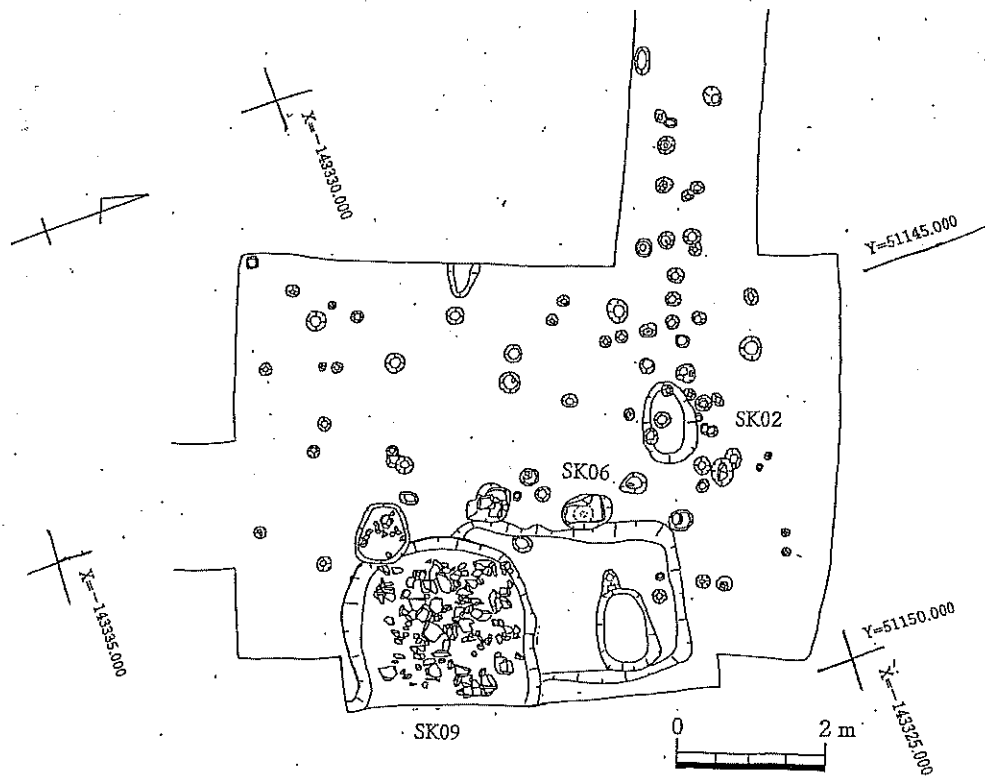
調査の結果、当地には中世の集落跡が残存していることが分かり、密集して検出された柱穴跡や切り合い関係にある土坑群の存在から、幾度か建物の建て替えが行われたと考えられる、また、経塚に類似した集石遺構が複数検出されたことから、集落内の墓地に類する場所であった可能性がある。瀬戸川沿いの中世の集落遺跡のあり方がわかった事で大きな成果になった。



HT1-2 位置図 (1/8000)



HT1-2 調査区割図 (S=1/1600)



HT1-2 III区北東部 遺構平面図 (S=1/100)



HT1-2 III区 北東部 遺構検出 全景 (北から)



HT1-2 III区 SK09 検出状況 (東から)



HT1-2 III区 SK09 出土 蛸壺